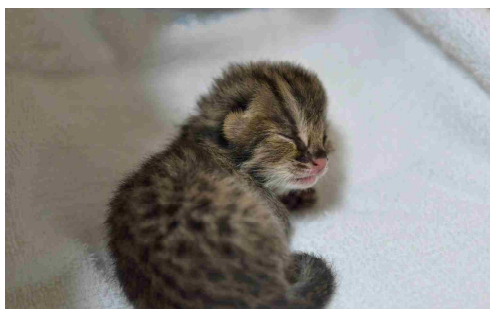


人工授精によりツシマヤマネコの 赤ちゃんが誕生しました!



写真提供：よこはま動物園ズーラシア

↑誕生2日目の様子

生後3週間後の様子

目もしっかり開眼しました! →



写真提供：よこはま動物園ズーラシア

令和3年3月18日(木)、横浜市立よこはま動物園(ズーラシア)において、ツシマヤマネコの赤ちゃんが人工授精により誕生しました。今回使用されたのは、ホルモン剤で卵巣の状態を適切にコントロールした後、腹腔鏡を使って精子を直接、卵管内に注入するという方法です。1月に人工授精を施した後、3月上旬に妊娠が確認され、無事出産に至りました。人工授精によるツシマヤマネコの繁殖成功は国内初の事例となります。

この赤ちゃんの成長の様子を、対馬野生生物保護センターの掲示物や映像で紹介しています。また、対馬島外の施設で飼育されているツシマヤマネコの情報も適宜更新していますので、お時間があればぜひセンターへご来館ください♪

○よこはま動物園ズーラシアについて

開園時間：9:30~16:30 (入園は16:00まで)
休園日：毎週火曜日(祝・休日の場合は開園し、翌日休園)
問い合わせ先：045-959-1000

※入園料などの詳細はホームページをご覧ください
また、一日の入園者数の制限や、土日祝日の入園には、整理券の事前予約が必要になるためご注意ください。

ツシマヤマネコ交通事故防止 キャンペーンを実施しました!



今年度も環境省・長崎県・対馬市は「ツシマヤマネコ交通事故防止キャンペーン」を実施しました。このキャンペーンは対馬北警察署、対馬北地区交通安全協会のご協力のもと、春の全国交通安全運動と同時に開催されました。ご協力ありがとうございました!

対馬島内で車の運転をされる際には、人にもヤマネコにも優しい運転をよろしくお願いいたします!



開館時間と休館日のお知らせ

【開館時間】10時~16時30分(入館は16時まで)
【休館日】月曜日(月曜日が祝祭日の場合は開館、翌日火曜日に休館)、年末年始(12月29日~1月3日)
※新型コロナウイルスの影響で臨時休館となる場合があります。ご了承下さい。

シカの捕獲に関わる研修を2件開催しました

環境省は3月に、狩猟経験の少ない方を対象にした「捕獲体験型研修ツアー」と狩猟経験が豊富な方を対象とした「止め刺し手法に係る研修」、計2種類の捕獲研修を行いましたので紹介いたします！

・捕獲体験型研修ツアー

狩猟経験の少ない方に向けて、シカの誘因からわなの設置、シカの止め刺しまでの一連の流れを一緒に実施するツアーを11日間にわたり開催しました。

このツアーには地元のベテランハンターさんにも同行していただき、シカ捕獲の手法を教えてくださいました。



・止め刺し手法に係る研修

伊奈鳥獣保護区及びその周辺地域で捕獲活動をされている方を対象に、2日間くくりわなや電気止め刺し器の作成、安全な止め刺し方法の講習を行いました。

参加された方々は、ご自身の手法の共有や講師への質問など積極的にされていました。

新職員・異動のご挨拶

はじめまして！内山のステーションに4月より配属された木滑 黄平（きなめ こうへい）と申します。この前は屋久島にいました。対馬のすばらしい自然をめいっぱい楽しみたいと思います！釣り、狩猟始めます。

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
自然保護官

きなめ こうへい
木滑 黄平



多くの野鳥が見たくて、新潟の専門学校からやってきました。対馬のことはまだわからなことだらけですが、大好きな野鳥を通してヤマネコや対馬の自然を理解していきたいです。休日は野鳥観察で対馬の色んなところに出没するので見かけたら気軽にお声をかけてくださると嬉しいです。これからよろしくお願いします。

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
アクティブレンジャー
ひきじ りょう
引地 稜



4月からツシマヤマネコ野生順化ステーションで飼育業務を担当しています。去年は対馬野生生物保護センターに勤務しておりました。勤務地も担当業務も変わりましたが、引き続き頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員

あそう ちあき
麻生 千晶



ヤマネコセンターで4年間お世話になりましたが、今年度よりツシマヤマネコ野生順化ステーションへと異動となりました。佐護から内山と対馬を縦断しましたが、より一層対馬の事を詳しくなれそうでワクワクしています！これからもよろしくお願いいたします！

ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員

おおた ゆきひろ
太田 幸宏





ヤマネコの追跡調査が無事終了しました

前号(91号)で野生復帰をお知らせしたMo-93について、経過観察のため放獣後も追跡調査を実施していましたが、3月25日に再捕獲・検査した結果、しっかりと野生で生活できていると判断できたため、首輪(発信器)を外し、改めて放獣しました！

追跡調査地周辺のみなさま、ご理解とご協力ありがとうございました！



治療をおこなっていた時のMo-93

ステーションだより Fk-89「みーちゃん」動物園へ！！



野生順化ケージ内を闊歩するみーちゃん

昨年の秋号でお知らせしたFk-89「みーちゃん」の続報です。昨年より野生復帰を目指してステーションでのリハビリの結果、運動能力を回復させることができました。しかし、後遺症の影響で出産に危険が伴うことから野生復帰を断念しました。そのため、来期の飼育下繁殖への参加を目指して今年秋以降、動物園に移動する予定です。それまではステーションの野生順化ケージで飼育を行い、野生復帰技術開発のための知見収集に協力してもらっています。

新職員のご挨拶

はじめまして、池田です。幼少期を対馬で過ごして以来、約20年ぶりに対馬で生活することになりました。改めて対馬の自然の魅力を感じています。これから業務以外でも対馬の生活、文化のことを学んでいきたいです。よろしくお願いいたします。

対馬野生生物
保護センター
アクティブレンジャー
いけだ としひろ
池田 俊寛



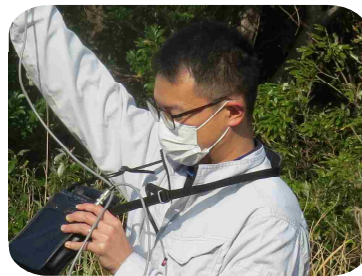
4月から、飼育員としてお世話になります。星野悠太です。まだまだ至らぬ所も多い私ですが、人とツシマヤマネコ両方の幸せに向けて自分には何が出来るのか一生懸命考え、行動していきたいと思っております。これからどうぞよろしくお願いいたします。

対馬野生生物
保護センター
飼育員
ほしの ゆうた
星野 悠太



退職のご挨拶

約5年間、ツシマヤマネコ野生順化ステーションの飼育員として勤めさせて頂きました。鮎もどしの自然の中で対馬の生き物に触れ、多くの方々とお会いすることが出来ました。本当にありがとうございました。



ツシマヤマネコ野生
順化ステーション
飼育員
きりたに げんき
桐谷 元基

生き物クイズ

次の写真のうち、ヒトツバタゴはどれでしょう。

答えはウラ(4ページ)をみてね！

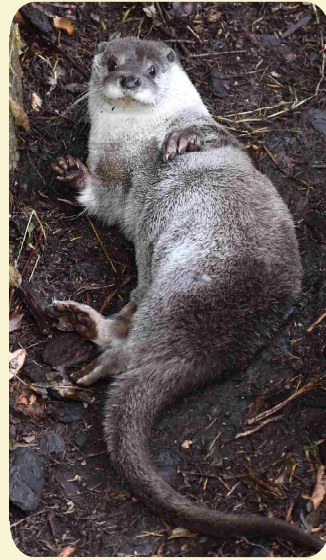


対馬にいる生き物をご紹介します！

番外編

ユーラシアカワウソ

学名：Lutra lutra chinensis

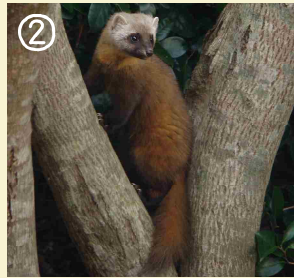
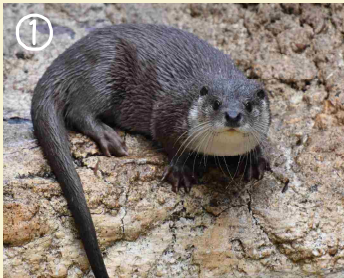


対馬では、平成29年度に国内38年ぶりに野生のカワウソが確認され、その後の調査で、採取した糞などの痕跡を遺伝子解析し、ユーラシアカワウソであることが判明しています。しかし、対馬にどのくらいカワウソがいるかなど重要なことが明らかになっていません。

そこで、今回は番外編と題しまして、ユーラシアカワウソの紹介と対馬でのカワウソ目撃情報を大募集することにしました！

ユーラシアカワウソは、食肉目イタチ科カワウソ属の種であり、ツンドラ以南のユーラシア大陸全土に生息しているカワウソです。夜行性の動物で、魚類や甲殻類などを食べて生活しています。手足の指と指の間にある水かきや、体が平べったく、水の抵抗を受けにくいことで、水中を素早く泳ぐことができます。また、手先がとても器用なんだそうです。

名前に「カワ」とつきますが、実は川だけではなく、海で生活することもあり、実際に、対馬では海岸や砂浜でカワウソの痕跡が見つかっています。



①～④にはユーラシアカワウソと対馬に生息しているイタチ科の動物の写真を並べてみました。どれがどの動物かわかりますか？正解は①ユーラシアカワウソ②ツシマテン（冬毛）③ツシマテン（夏毛）④シベリアイタチです。並べてみると全然違うのがわかりますね。カワウソの見た目の特徴としては、背面は黒褐色や灰褐色で、喉から頬や胸部、腹部にかけて灰白色になっており、尻尾が先にいくにつれて細くなります。テンやイタチは太いままで。

もし対馬でカワウソを目撃した場合はヤマネコセンター(0920-84-5577)までご連絡よろしくお願ひします！

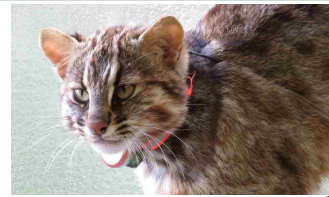
カワウソ写真提供：よこはま動物園ズーラシア

編集後記

すっかり日差しが強くなりだんだんと夏の到来を感じる時期になりました。色々な生き物たちも姿をあらわしてくれ、とても楽しい季節です。熱中症に気をつけて、思いっきり楽しみましょう！

今日一枚 by 飼育員 田苗

現在、厳原野生順化ステーションで飼育しているツシマヤマネコのこう君は、4月15日で2歳になりました。まだまだ爪とぎ用の木の皮で一人遊びをしたりと幼いところもありますが、一生懸命訓練を頑張っています！



いきものクイズの答え

正解：③(①はミヤマガマズミ、②はマルバアオダモでした。)

いずれも対馬に自生する木本で、春に白い花を咲かせる植物です。ヒトツバタゴは対馬、木曾川流域に隔離分布しています。どうしてこのように分布するのか不思議ですね。

とらやまの森

No 92

2021

夏拡大号



「とらやまの森」の記事を引用される際には、出典が「とらやまの森」であることを明記して下さい。